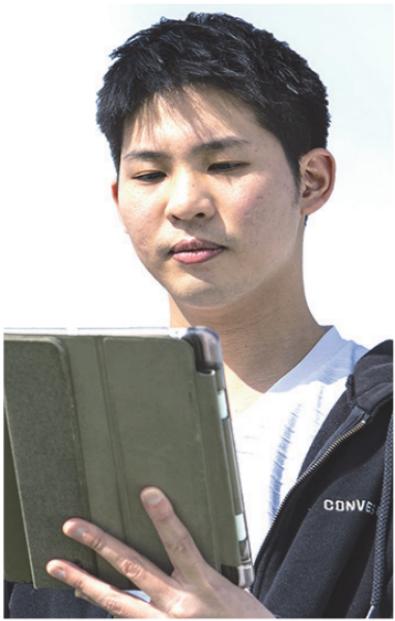


# 輝け若人

東京に本社があるゼネコンから内定をいたいた。私が土木関係に就きたいと考えるようになつたのは、大学3年生の秋ごろだった。大学生になつたばかりのころは、就職について深く考えもしなかつたが、3年生になると就職に関する講義が増え、就活の空気が漂い始めた。その中で

就職担当の先生から、ゼネコンで働くある先輩の話を聞いた。はじめはあまり関心

## 飛び込んでみる勇気



第一工科大学 4年  
環境エネルギー工学科  
伊集院 兼節 さん

がなかつたが「この道に進んでみたい」と思える瞬間があつた。もう一回話を聞くために、改めてその先生のもと

仕事について聞かせていただき、強く魅力を感じるようになつた。私はすぐに行動に移り、その時期でも行われて

安全な暮らしを提供できる」などの言葉に感銘を受け、この道に進みたいと考えた。それから2カ月経たない

うちに内定をいただいた。あの瞬間、先生の話を聞きに行かなかつた。ら、インターネットを受け取つてくださいました。実際に土木技術者の

に向かうと、先生は先輩本人に電話で連絡も取つてくださいました。

いたオンラインインターンに申し込んだ。受け残るもの、人々に安心

する。人々に安心安全な暮らしを提供し、笑顔を与えるられる土木技術者になるため、努力し続けるつもりだ。